



ミュージアムコレクションI それぞれのふたり

# 池田良二と 海老塚耕一

Museum Collection I "Two Artists' Works" Series  
Ryoji IKEDA and Koichi EBIZUKA

2019年4月20日(土) → 7月21日(日)

会場 | 世田谷美術館 2階展示室

開館時間 | 10:00-18:00 (入場は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

\* 4月29日(月・祝)、5月6日(月・振替休日)、7月15日(月・祝)は開館。5月7日(火)、7月16日(火)は休館。  
\* 4月23日(火)から5月6日(月・振替休日)までは開館します。

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上 / 小中生100円(80円)

\* ( )内は20名以上の団体料金。

\* 障害者の方は100円(80円)。ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。

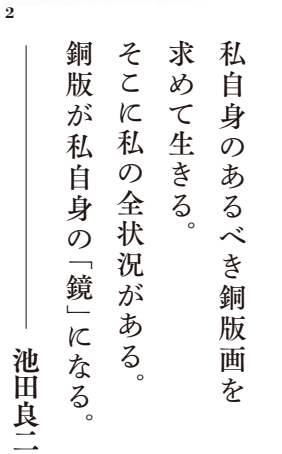
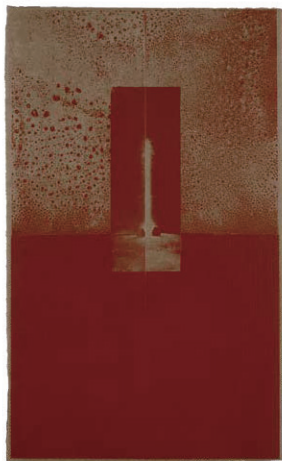
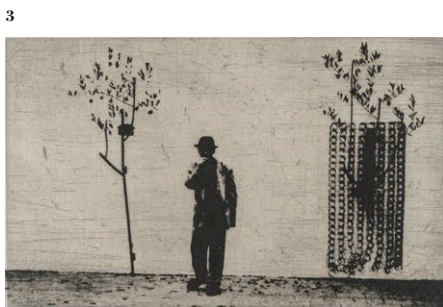
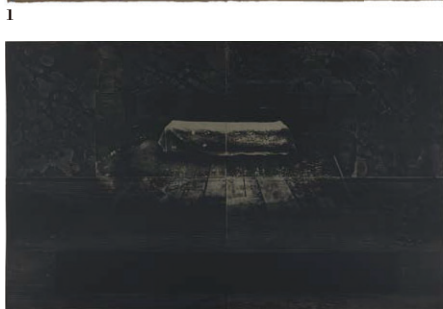
\* 介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。

\* 小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。

\* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

世田谷美術館  
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL: 03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>  
展覧会のご案内: 03-5777-8600(ハローダイヤル)



# それぞれのふたり 池田良二と海老塚耕一

Museum Collection 1 "Two Artists' Works" Series Ryoji IKEDA and Koichi EBIZUKA

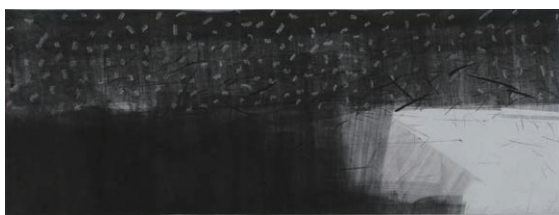
私自身のあるべき銅版画を  
求めて生きる。  
そこに私の全状況がある。  
銅版が私自身の「鏡」になる。

池田良二

## Ryoji IKEDA Koichi EBIZUKA

皮膚裏を見せるために作っているのだ、と分かったときに、  
それまでの彫刻制作とつながった。

海老塚耕一



1 池田良二《The cape region / 岬の領域》1988年 2 池田良二《Drifting ashore on light / 漂着する光》1995年 3 池田良二《Untitled 1》1999年 4 池田良二《〈詩人の肖像〉より 岡田隆彦》2016年  
5 海老塚耕一《T・Yから—曖昧な水》1998年 6 海老塚耕一《風の木からI》2000年 7 海老塚耕一《野ウサギの風》2005年 8 海老塚耕一《混合されたふたつの光景—風より》2008年

池田良二(1947年生まれ)は1970年代半ばより銅版画を手掛けてきました。フォトエッチングの技法を主軸に、さまざまな技法を組み合わせた作品は、モノトーンの色調からなる間に近い空間のなかに、時間の層が幾重にも織り込まれているようです。そこには描かれていない人の気配も感じさせ、不在や痕跡といった言葉が脳裏に浮かんできます。

一方、彫刻作品を発表してきた海老塚耕一(1951年生まれ)が、本格的に銅版画に取り組んだのは、1990年代の末でした。素材と対話し、境界や端について考えることを起点に制作してきた海老塚は、銅版にも同じ態度で臨んでいます。それは、銅板に刻み込んだ図が反転する銅版画を、表と裏の境界を跨ぐ表現として強く意識しているからです。

同じ銅版画というジャンルで制作していますが、二人が目指すところや刷り出された表現は大きく違っています。しかし、二人とも、銅板という素材をどのように銅版というメディアへと変貌させるかという問いの前に立っているといえるでしょう。二人が銅版に向き合い、そして作品に込めた、それぞれの思考の姿をぜひご覧ください。

### アーティスト・トーク

自作が並ぶ展示室で、作品や制作、日々考えていることなどについて語っていただきます。

日時 | 2019年6月1日(土)16:00-17:00

講師 | 池田良二(版画家)

日時 | 2019年6月23日(日)14:00-15:00

講師 | 海老塚耕一(美術家)

会場 | 世田谷美術館2階展示室

参加費 | 無料(申込不要、観覧会チケットが必要です)

### 関連企画

#### 小コーナー展示

##### ● 追悼——彫刻家・最上壽之

昨年10月に逝去した彫刻家・最上壽之(1936-2018)の作品と、写真家・村上慎二(1963-)による記録写真を展示します。

#### 同時開催企画展

##### ● ある編集者のユートピア

小野二郎:ウィリアム・モリス、晶文社、高山建築学校  
2019年4月27日(土)~6月23日(日)

##### ● 高橋秀+藤田桜——素敵なふたり

2019年7月6日(土)~9月1日(日)



## 世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL: 03-3415-6011(代表)

https://www.setagayaartmuseum.or.jp/

観覧会のご案内: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

【交通案内】  
● 東急田園都市線 用賀駅下車、北口から徒歩17分 / 美術館行バスA、美術館  
● 東急田園都市線 用賀駅下車、南口から渋谷駅行バスB、砧町下車徒歩10分  
● 小田急線 成城学園前駅下車、南口から渋谷駅行バスC、砧町下車徒歩10分  
● 小田急線 千歳船橋駅下車、田園調布駅行バスD、美術館入口下車徒歩5分  
● 来館者専用駐車場(60台、無料) : 東名高速道路高架下、厚木方面側道  
400m先。美術館まで徒歩5分